

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
常滑市	前山地区(前山区)	令和3年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	143ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	94.7ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	22.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	19.3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.8ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○新規就農者の受入れに関すること 新規就農者に対して耕作しやすい農地の紹介や、十分な情報提供がされていない。 自分の農業機械を持っていない人にとってJAのレンタルの仕組みはありがたい一方で、時期が集中するため使用に制限が多い。</p> <p>○その他 農地の管理のために営農集団を組織することは効果的だが、法人管理が困難。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>今後の前山区の農地利用について、水田は11中心経営体、畑は8中心経営体が担う。</p>
<p>あいち知多農業協同組合が長年に渡って計画的に集積・集約化を進めてきており、引き続きあいち知多農業協同組合を中心に地元や行政が連携して中心経営体への集積・集約化を推進する。</p>

(参考) 中心経営体

属性		中心経営体数	経営面積	
			現状	今後の農地の引受意向
認定農業者	個人	9	22.5 ha	24.3 ha
	法人	6	9.8 ha	12.8 ha
基本構想到達者	個人	8	11.6 ha	11.6 ha
	法人	1	0.8 ha	0.8 ha
その他	個人	0	0 ha	0 ha
	法人	0	0 ha	0 ha
計		24	44.7 ha	49.5 ha

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け又は売渡の意向が確認された農地は、148筆184,258㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用するため、高齢化等により農業をリタイヤする農業者の情報を収集し、出し手と担い手のマッチングを積極的に行う。

新規就農者の受入

希望者が円滑に就農できるような仕組み、体制づくりを検討する。

新規・特産化作物の導入方針

アグリ常滑営農支援機構において推奨される品目を広く周知し、栽培を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
	前山区	138,498	0	62,735